

## 第52回 東京都野菜・花き種苗改善審査会 パチュニアの部が開催されました

平成22年5月10日（月）、東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催「第52回野菜・花き種苗改善審査会パチュニアの部」が開催されました。

審査は農総研研究員、都農業振興事務所職員、農業改良普及員、JA職員、種苗会会員ら14名で行った。



- 1 出品点数 18点（全てペレット種子）
- 2 栽培概要

### (1) 播種及び育苗管理

- ①播種 平成22年1月14日に、市販播種用土(商品名:タキセル培土 TM-2)を詰めた406穴セルトレイへ、1穴1粒播きした。
- ②温度管理 ガラス室栽培とし、1月14日~20日までは最低温度を23℃、1月21日~24日までは最低温度を20℃、1月25日~31日までは最低温度を17℃、2月1日以降は最低温度を15℃とした。
- ③発芽 播種後5日目の1月19日から萌芽が始まり、1月22日には、全品種が萌芽した。発芽率は、全品種とも良好であった。
- ④灌水 2月8日まではセルトレイの底部から底面給水を行い、9日以降は頭上灌水とした。
- ⑤追肥 2月12日、19日にそれぞれ液肥20-20-20(商品名:ハイポネックス)2,000倍液(N=100ppm)を施用した。

### (2) 鉢上げ以降の栽培管理

- ①鉢上げ 2月24日、本葉3~5枚時に3.5号黒ポリポットに1本植えて鉢上げした。鉢上げ用土は、赤土:腐葉土:ピートモス=5:3:2(体積比)として、基肥は用土100ℓ当たり、被覆複合肥料14-12-14(商品名:エコロング424-100)=300g、化成肥料6-40-6(マグアンプK中粒)=200g、過リン酸石灰0-17-0=250gとした(用土100ℓ当たり成分量でN=54g、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>=158g、K<sub>2</sub>O=54g)。
- ②温度管理 ガラス室栽培とし、2月24日~28日までは最低温度を15℃、3月1日~7日までは最低温度を13℃、3月8日~4月8日までは10℃、4月9日~4月13日までは12℃、4月14、15日14℃、4月16日~4月21日までは10℃、4月22日以降は5℃(18:00~5:00は3℃)で温度管理した。3月25日、および4月5日に鉢広げを行った。
- ③灌水 頭上灌水で行った。なお、5月6日以降は、底面灌水を適時実施した。

④追肥 3月26日および4月26日に、化成肥料 12-12-12（商品名：プロミック錠剤スタンダードタイプ中粒）を鉢当たり1粒施用した。

⑤病害虫防除 2月24日 オルトラン粒剤、3月25日 アファーム乳剤 1000倍

### 3 審査結果

入賞をはたしたのは、以下の通りである。

等級	品 種 名	出 品 社
I	バカラ ホワイト	(有)野崎種苗園
II	F1ロンド ローズ	タキイ種苗(株)
III	F1マンボ ピンクモーン	(有)東京花壇
III	F1ロンド ディープサーモン	タキイ種苗(株)
III	デボネア ライムグリーン	(株)ミヨシ



審査風景



I等 バカラ ホワイト



II等 F1ロンド ローズ



III等  
F1マンボ ピンクモーン



III等  
F1ロンド ディープサーモン



III等  
デボネア ライムグリーン